

○薩摩藩英国留学生一行の構成（視察員 4 人+留学生 15 人）

（鹿児島県立図書館所蔵）



後列：畠山義成 高見弥一 村橋久成 東郷愛之進 名越時成
前列：森有礼 松村淳蔵 中村博愛

後列：朝倉盛明 町田申四郎 鮫島尚信 寺島宗則 吉田清成
前列：町田清次郎 町田久成 長沢鼎

※新納久脩、五代友厚、堀孝之の3人は商談のため撮影に参加せず。

	役 職	出 航 時	変 名	帰 国 後	出航時 年齢	帰国後の主な功績
視 察 員	大目付（使節団長）	新納 刑部	石垣 鋭之助	新納 久脩	32	家老。裁判所判事、大島島司（支庁長）として奄美の近代化に尽力。
	船 奉 行	松木 弘安	出水 泉蔵	寺島 宗則	32	外務卿。文部卿。元老院議長。日本電信の父。日本外交の近代化と条約改正に尽力。
	船 奉 行 副 役	五代 才助	関 研蔵	五代 友厚	29	実業家として経済界で活躍。大阪商法会議所を創設。初代会頭。大阪商工業の発展と近代化に貢献。
	通 弁	堀 莊十郎	高木 政次	堀 孝之	21	通訳として活躍。五代の事業の協力者。
留 学 生	大目付・開成所掛（学頭）	町田 民部	上野 良太郎	町田 久成	27	帝国博物館（現東京国立博物館）創設を提唱。初代館長。古器旧物保存法（現文化財保護法）の制定に尽力。
	当 番 頭	畠山丈之助	杉浦 弘蔵	畠山 義成	22	東京開成学校（東京大学の前身）の初代校長。東京書籍館（現国立国会図書館）館長
	当 番 頭	名越 平馬	三笠 政之助	名越 時成	17	戊辰戦争に従軍。のち宮崎に居住。
	御 小 姓 組 番 頭	村橋 直衛	橋 直輔	村橋 久成	22	北海道開拓に従事。開拓使麦酒醸造所（現サッポロビール）の札幌創設を提唱。
	開 成 所 句 読 師	田中 静洲	朝倉 省吾	朝倉 盛明	22	フランス語通訳官。官営生野鉱山初代局長。鉱山事業の近代化に貢献。
	開 成 所 訓 導 師	鮫島 誠蔵	野田 仲平	鮫島 尚信	20	初代駐仏公使。外務大輔。日本初の外交官として外交法の確立に貢献。
	開成所第一等諸生	市来 勤十郎	松村 淳蔵	松村 淳蔵	22	海軍中將。海軍兵学校の校長として海軍教育の発展に貢献。
	開成所第二等諸生	森 金ノ丞	沢井 鉄馬	森 有礼	17	初代駐米公使。初代文部大臣。教育制度・学校制度の近代化に貢献。
	開成所第三等諸生	高見 弥一	松元 誠一	高見 弥一	22	鹿児島県立中学造士館の数学教員。県教育事業に貢献。
	開成所第三等諸生	東郷愛之進	岩屋虎之助	東郷愛之進	23	戊辰戦争で戦死。
	開成所第三等諸生	吉田 巳二	永井 五百介	吉田 清成	20	駐米特命全権公使。外務大輔。大蔵少輔として財政確立に貢献。
	開成所第三等諸生	磯永 彦輔	長 沢 鼎	長 沢 鼎	13	米国永住。カリフォルニアの葡萄王。カリフォルニアのワイン産業発展に貢献。
	開 成 所 諸 生	町田申四郎	塩田 権之丞	町田申四郎	17	宮崎に居住する。
開 成 所 諸 生	町田 清蔵	清水 兼次郎	町田清次郎	15	宮崎に居住する。	
医 師	中村 宗見	吉野 清左衛門	中村 博愛	21	フランス語通訳官。駐オランダ公使。駐デンマーク公使。外交官として各国との外交に尽力。	



【若き薩摩の群像】

【若き薩摩の群像】
 鹿児島中央駅前の広場には、薩摩藩英国留学生をモチーフにした銅像『若き薩摩の群像』があります。
 （昭和 57 年 3 月、中村晋也氏作）